

本における文化的記憶の形成について)」

8. 「アタナシウス・キルヒャー Athanasius Kircher シンポジウム」

3月8日（土）午後1時30分から

場所：新潟大学総合教育研究棟A棟1階大会議室

司会 桑原聡（新潟大学人文学部教授）

報告 伊藤博明（埼玉大学教養学部教授）「キルヒャーとエジプトマニア」

坂本貴志（立教大学文学部教授）「イシスとキルヒャー」

前田良三（立教大学文学部教授）「キルヒャーと可視性のメディア」

桑原聡「キルヒャーとクンストカマー Kunstkammer」

9. 日時 3月27日（木）16時～18時

場所 新潟大学五十嵐キャンパス 総合教育研究棟D-301

講師 ドイツ・ケルン単科大学メディア学科 Katja Butt 教授講演

タイトル Bewegte Bauten -Umbaute Bewegung「流動化する建築物－構築物となるイメージ（空間・知覚・流動）」

■ 『19世紀学研究』第8号刊行

環東アジア地域のネットワークに関する 総合的研究

研究代表者 關 尾 史 郎

概要

本プロジェクトは、学系附置環東アジア研究センターと多くのメンバーが重複しており、プロジェクトの活動はセンターの活動として行なわれている。

分担者

永 木 敦 子
兒 玉 憲 明
佐 藤 康 行
高 橋 秀 樹
橋 本 博 文
広 川 佐 保
山 内 民 博

協力者

蓮 田 隆 志 (現社研)
芳 井 研 一 (学系フェロー)

活動報告

- 1) 国際シンポジウム「戦時期の日本の東南アジア進出をめぐって」, 2014年1月25日, 新潟大学五十嵐キャンパス
ヴォ・ミン・ヴ (ベトナム国家大学ハノイ校人文社会大学校東洋学部日本学科専任講師/東京大学大学院生)
「アジア・太平洋戦争期の南部仏印における日本企業の活動—フランス語資料から—」
安達宏昭 (東北大学大学院文学研究科教授)
「戦時期における日本企業の南方事業展開—古河系企業を事例として—」
手嶋泰伸 (福井工業高等専門学校助教)
「海軍省南方政務部の形成と定着における海軍省調査課の役割」
コメント: 芳井研一 (新潟大学フェロー)
- 2) 環東アジア研究セミナー
關尾史郎 (新潟大学人文学部)「中国古代における墓券の展開」, 2013年7月1日, 新潟大学五十嵐キャンパス
岡崎 彰 (群馬大学名誉教授)「ベトナム前近代の天文・暦法」, 2013年8

月22日、新潟大学五十嵐キャンパス

研究成果など

1) 書籍

環東アジア研究叢書第4巻 ジョヴァンニ・フィリッポ・デ・マリニ 『《復刊》トンキン王国の新奇な話』 新潟大学環東アジア研究センター（編），解説：蓮田隆志，2014年2月。

關尾史郎（編）『環東アジア地域の歴史と「情報」』 知泉書館・新潟大学人文学部研究叢書，2014年3月。

2) 定期刊行物

『環日本海研究年報』第21号，2014年3月（発行名義は新潟大学環日本海研究室）。

佐渡・越後の文化交流史研究

研究代表者 原 直 史

プロジェクトの概要

佐渡および越後地域をめぐる文化交流について、歴史、考古、地理、民俗、社会思想史、文学等の各分野から、現地調査を加味しつつ、研究資料・研究文献を広く調査蒐集し、日本列島における東西文化交流と定着について総合的、実証的研究をすすめる。具体的には両地域を中心とした地域の古文書や文学資料、古地図、遺跡発掘データの収集と検討、民俗学的事例研究などを通して当該地域の文化交流について考察する。数回の研究会、研究報告書刊行等を行っている。